

No2

2011.3.22

発行者:長谷川 昇  
事務所046-876-7477  
横須賀市長坂3-3-11  
hasedon2@gmail.com

## 長谷川 昇(はせがわのぼる)のプロフィール

1962年6月30日生まれ (48才) 横須賀市長坂で生まれる。

大楠小・中学校卒業 / 県立横須賀高等学校(33期)卒業(陸上部)  
明治大学政治経済学部政治学科卒業 / 私立三浦高等学校 社会科講師  
1991(年度)~1997横須賀市立鴨居中学校教諭 (バレーボール部顧問)  
1998~2010 横須賀市立池上中学校教諭 (ハンドボール・陸上部顧問)  
2007~2010 三浦半島地区教職員組合書記長

●**行政関係委員等** 2005・06横須賀市適正配置等検討委員会/2007・08横須賀市教育基本計画推進委員会委員/2010 横須賀市教育振興基本計画委員会委員等

★**無所属** ●推薦団体 連合神奈川・三浦半島地域連合・三浦半島地区労・神奈川県教職員組合・三浦半島地区教職員組合・情報労連神奈川(N T T)等

# 子ども/青年/教育に未来を!

教員生活25年、私立高校(三浦高校)・横須賀の公立中学校(鴨居中学校・池上中学校)で、多くの子どもたちとかがわってきました。その子供たちの「今」を見ると暗雲がかかっていると感じています。

### ★地元産業の育成と雇用の創出を!

世界経済の行き詰まりと閉塞状況は、日本においては、所得の格差を生み出し、豊かなものはより豊かに、貧困層はより貧困に、「格差の拡大」をもたらし、社会全体に大きな陰を投げかけています。この状況の中で、雇用の確保、とりわけ「若い世代の雇用」は最重要の課題であると考えています。

### ★工事現場から20m落下した教え子

教え子のひとりK君は、「一昨年、みなとみらいの工事現場で作業中に20メートルぐらいの高さから落下。腰椎骨折ですんだものの、もし落ちた場所が少しずれていたら即死だった」と笑いながら話す。命綱はあったけれども、仕事にならないから外していたという。高い場所での作業。危険と隣り合わせの作業。そんな中に身を置いての労働。彼はその後歩

けるようにはなったが、腰に重い障害を負い、「もとの体に戻るのには難しい」と腰をさすりながら語ってくれました。

### ★派遣切りされた教え子

もうひとりのS君は、「いまはやりのやつです。」と言うので、「どうしたのか」と聞けば、「派遣切りですよ、突然もう来なくていいといわれて仕事がなくなった。本当に夢も希望もないですよ」と語る。仕事を一生懸命やって、なんとか信頼を勝ち得ていた途中での失業だという。

### ★若者に夢や希望がない社会に未来はない!

他にも、教え子の多くが「本当に正規の仕事にかなきゃ、保障もないし結婚も子どもも無理」「ハローワークでも仕事が見つからない。」「派遣ではなく正規で働ける仕事が欲しい」と訴える。私はあれもこれも、「個人のせいではなく、政治や社会の問題」だと思っています。改めて「若者に安心して安全な仕事を」実現するために、全力で努力いたします。

# LIFE(暮らし)・EDUCATION(教育)・AREAS(地域)・PEACE(平和)

長谷川昇は4つの政策をまとめて「LEAP」(リープ)と呼ぶことにしました。

※LEAPは、「飛躍」・「跳躍」・「飛び跳ねる」という意味。



## くらし Life

- ・ 人権を尊重し、あらゆる差別をなくし、ともに暮らす社会をめざします。
- ・ 高齢者や障がいのある人も安心していきいきと暮らせる街、災害に強い街にするためにとりくみます。
- ・ 地域医療の問題に関して、出産・育児・介護についてとりくみます。とりわけ「横須賀市民病院」の医療の充実を求めます。
- ・ 景気の悪化による若い世代の非正規雇用者の増大は深刻です。地元の産業の育成と雇用の創出をはたらきかけます。

## 教育 Education

- ・ 25年間の教員経験をいかし、子どもから高齢者まで、一人ひとりの学びを保障するための条件整備等につとめます。
- ・ 「教師が子どもと向き合う時間の確保」のためには、学校現場の多忙化の解消が必要です。そのために現場の声を行政に届け、改善を求めます。
- ・ 30人以下学級の実現・教職員定数改善にむけ、市議会から県・国に対して強くはたらきかけます。
- ・ 格差社会による「子どもの貧困」は深刻です。学ぶ機会を保障するために、奨学金の拡充・公立高校の定員枠の拡大・私学助成の拡充を求めます。

## 地域 Areas

- ・ 三浦半島の自然を守り、環境問題については住民の立場からとりくみます。
- ・ 「長坂のゴミ焼却場」建設計画については、安全性等の課題を整理し、地域の声をいかしとりくみます。
- ・ 地域に根ざした歴史・文化の学習の場づくりやスポーツの推進をはかる中で、地域コミュニティの拡充をはかります。

## 平和 Peace

- ・ 日本国憲法の理念を暮らしにいかし、核兵器廃絶にむけてとりくみます。
- ・ 原子力空母・原発に起因する問題にとりくみ、市民の安心・安全が保障される街づくりをすすめます。
- ・ アジアを中心に世界の人々と市民外交の推進をはかり、相互理解を深めます。

★詳しい政策等は・Yahoo・またはGoogleで「長谷川昇 横須賀」を検索してください。<http://hasedon.peace.mepage.jp>

東日本大震災に際して、亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様や関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。私自身この危機的な状況の中でこそ「政治がきちんと仕事をする事」が必要と感じています。改めて「横須賀の防災体制」の拡充と「原子力の問題」について取り組む決意をいたしております。 長谷川昇